(様式1B)

年

月

日

01 1: 新 規 2: 更 新	※03 業者CODE	(参考)	04適格組合	年	月	日
※02 受付番号			証明	第		号

一般競争(指名競争)参加資格審査申請書(地層処分に関する技術開発・技術調査等)

2021・2022年度において、原子力発電環境整備機構が所掌する地層処分に関する技術開発・技術調査等に係る競争に参加する資格の審査を申請します。なお、この申請書および添付書類の内容については、事実と相違ないことを誓約します。

		原子力発電環境整備機構 理事長 殿
05	郵便番号	
06	フリガナ	
	本社(店)住所	
07	フリガナ	
	商号又は名称	
08	フリガナ	IIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIII
	代表者氏名 (役職)	(氏名)
09	フリガナ	
	担当者氏名	
10 信 11 F	電話番号	12メールアドレス

※欄については、記入しないこと。

/ 1 S # 15	
/ 华子一十 1	י כד
(禄式儿	B

15	実 績 高		決算 の決算 月から 月まで (千円)	—————————————————————————————————————	(3)	直前2ヵ ⁴ 年間平均	実績高	-円)	16 実績件※		研究論文件数	
地層	処分に関する技術開発、技術調査等	F							数			
17 自己資本額	区 分 ①株主資本 (うち外国資本) ②評価・換算差額金 ③新株予約権 ④合計	基準決算 (算時 (千円))	決算後の(増減額(千円			(千円)				
	流動比率= 流動 流動と 流動 流動 流動 流動 流動 が 高 が 流動 が る た る た る た る た る た る た る た る た る た る		20 ①創 営 営 業 転(廃)	又は 業の期間 織への変更	年 年	手 月 月 月	(%) 日 日から 日まで 日 (年)	21 外資状況	[国 2 [国	外国籍会社 名: 日本国籍会社 名: (比率:100%)	3 日本国籍: [国名: (比率: [国名: [国名: (比率: [国名: (比率:	会社 % %

技術者数一覧表(技術者数および経験年数)

【1. 地質環境】

技術	Ī 分野		経騎	年数ごとの	の技術者数	(Χ1	
中項目	小項目	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上
構造地質							
火山·火成活動							
断層							
隆起·侵食							
•							
•							
	中項目 構造地質 火山·火成活動 断層 隆起·侵食	構造地質 火山·火成活動 断層 隆起·侵食	中項目 / 小項目 / 「有差地質 / 「人山·火成活動 「一個	中項目 小項目 5年未満 5年以上 10年未満 構造地質	中項目 小項目 5年未満 5年以上 10年以上 15年未満 構造地質	中項目 / 小項目 / 5年未満 5年以上 10年以上 15年以上 20年未満 標準地質 火山・火成活動	中項目 小項目 5年未満 5年以上 10年以上 15年以上 20年以上 20年以上 20年未満 25年未満 25年未満 25年未満 25年未満 25年未満 25年未満 25年未満 25年未満 25年未満 5年以上 20年末満 25年未満 25年まままままままままままままままままままままままままままままままままままま

^{※1}上記「技術分野」において専門分野と経験を有する技術者数を経験年数ごとに整理してください。

同一の技術者が複数の分類項目の技術・経験を有している場合には、複数の項目に計上してください。

【2. HLW処分技術(その1)】

大項目			20年以上 25年未満	25年以上
ニアフィールド 長期健全性評価技術 ニアフィールドシステムの長期挙動評価 人工バリアの劣化評価 オーバーパックの沈下評価 岩盤クリーブ評価 緩衝材と腐食生成物の相互影響評価 人工バリア中ガス発生/移行評価 緩衝材とコンクリートの相互影響評価 コンクリートの岩盤への長期影響評価 スエバリアの耐震安定性評価 人エバリアの設計技術 人エバリアの設計技術 人エバリアの設計技術 スエバリアの設計 緩衝材の設計 オーバーパックの設計 緩衝材の設計 オーバーパックの設計 緩衝材の製作 その他 地下施設の 設計評価技術 地下施設の 設計評価技術 地下施設の 設計評価技術 地下施設の 対応域地下水流動評価 熱影響評価 地下坑道安定性評価(空洞安定性)	2	20 77/1/10		
長期健全性評価技術				
オーバーパックの沈下評価 岩盤クリープ評価 緩衝材の岩盤への貫入、流出評価 緩衝材と腐食生成物の相互影響評価 人エバリア中ガス発生/移行評価 緩衝材とコンクリートの相互影響評価 コンクリートの岩盤への長期影響評価 人エバリアの耐震安定性評価 人エバリアの耐震安定性評価 人エバリアの設計 接衝材の設計 オーバーパックの設計 緩衝材の設計 オーバーパックの製作 緩衝材の製作 をの他 地下施設 地下施設の 設計評価技術 地下施設レイアウト設計 治岸海底下処分 広域地下水流動評価 熱影響評価 地下坑道安定性評価(空洞安定性)				
岩盤クリープ評価 緩衝材の岩盤への貫入、流出評価 緩衝材と腐食生成物の相互影響評価 人エバリア中ガス発生/移行評価 緩衝材とコンクリートの相互影響評価 コンクリートの岩盤への長期影響評価 人エバリアの耐震安定性評価 人エバリアの耐震安定性評価 人エバリアの設計 緩衝材の設計 オーバーパックの設計 緩衝材の設計 大エバリアの製作技術 接衝材の製作 その他 地下施設の 設計評価技術 地下施設の 設計評価技術 お岸海底下処分 広域地下水流動評価 熱影響評価 地下坑道安定性評価(空洞安定性)				
緩衝材の岩盤への貫入、流出評価 緩衝材と腐食生成物の相互影響評価 人エバリア中ガス発生/移行評価 緩衝材とコンクリートの相互影響評価 コンクリートの岩盤への長期影響評価 人エバリアの耐震安定性評価 人エバリアの設計技術 人エバリアの設計技術 大エバリアシステムの設計オーバーパックの設計 緩衝材の設計 人エバリアの製作技術 緩衝材の製作 その他 地下施設 地下施設の 設計評価技術 地下施設の 点域地下水流動評価 熱影響評価 地下坑道安定性評価(空洞安定性)				
接衝材と腐食生成物の相互影響評価 人工パリア中ガス発生/移行評価 緩衝材とコンクリートの相互影響評価 コンクリートの岩盤への長期影響評価 人工パリアの耐震安定性評価 人工パリアの設計技術 人工パリアの設計 を衝材の設計 オーバーパックの設計 緩衝材の設計 人工パリアの製作技術 をの他 地下施設 地下施設の 設計評価技術 とのからないでは、 地下施設の 設計評価技術 との対象を表現して、 地下施設の 設計評価技術 をのは 地下施設の 設計評価技術 をのが表現して、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				
人工バリア中ガス発生/移行評価 緩衝材とコンクリートの相互影響評価 コンクリートの岩盤への長期影響評価 人工バリアの耐震安定性評価 人工バリアの耐震安定性評価 人工バリアの設計 大ボリアシステムの設計 オーバーパックの設計 接衝材の設計 オーバーパックの製作 接衝材の製作 をの他 地下施設の 設計評価技術 地下施設レイアウト設計 沿岸海底下処分 広域地下水流動評価 熱影響評価 地下坑道安定性評価(空洞安定性)				
接衝材とコンクリートの相互影響評価 コンクリートの岩盤への長期影響評価 人工バリアの耐震安定性評価 人工バリアの設計技術				
コンクリートの岩盤への長期影響評価				
人エバリアの耐震安定性評価 人エバリアの設計技術 人エバリアシステムの設計				
人工バリアの設計技術 人工バリアシステムの設計 オーバーパックの設計 緩衝材の設計 オーバーパックの製作 緩衝材の製作 その他 地下施設 地下施設の 地下施設レイアウト設計 沿岸海底下処分 広域地下水流動評価 熱影響評価 地下坑道安定性評価(空洞安定性)				
オーバーパックの設計 接衝材の設計 人工バリアの製作技術 オーバーパックの製作 接衝材の製作 その他 地下施設の 地下施設の 地下施設レイアウト設計 沿岸海底下処分 広域地下水流動評価 熱影響評価 地下抗道安定性評価(空洞安定性)				
接衝材の設計 人エバリアの製作技術 オーパーパックの製作 緩衝材の製作 せ下施設の 設計評価技術 協力学海底下処分 広域地下水流動評価 熱影響評価 地下抗道安定性評価(空洞安定性)				
人工バリアの製作技術 オーバーパックの製作 緩衝材の製作 その他 地下施設の 地下施設の 設計評価技術 地下施設レイアウト設計 沿岸海底下処分 広域地下水流動評価 熱影響評価 地下坑道安定性評価(空洞安定性)				
接衝材の製作 その他 地下施設の 地下施設レイアウト設計 沿岸海底下処分 広域地下水流動評価 熱影響評価 地下坑道安定性評価(空洞安定性)				
その他 地下施設の 地下施設レイアウト設計 設計評価技術 沿岸海底下処分 広域地下水流動評価 熱影響評価 地下坑道安定性評価(空洞安定性)				
地下施設 地下施設の 地下施設レイアウト設計 設計評価技術 沿岸海底下処分 広域地下水流動評価 熱影響評価 地下坑道安定性評価(空洞安定性)				
設計評価技術				
広域地下水流動評価 熱影響評価 地下坑道安定性評価(空洞安定性)				
熱影響評価 地下坑道安定性評価(空洞安定性)				
地下坑道安定性評価(空洞安定性)				
地下坑道支保工設計				
掘削・支保工施工・ アクセス坑道, 処分坑道				
ずり搬出技術 処分孔				
対策技術 異常間隙水圧、山はね、膨張性地山、				
ガス突出、大湧水等の対策工				
操業技術 操業システム設計 オーバーパックのおみ 搬送 宝宝				
オーバーパックの封入、搬送、定置				
閉鎖技術・プラグ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				
カ銀技術				
グラウト				
その他				

^{※1}上記「技術分野」において専門分野と経験を有する技術者数を経験年数ごとに整理してください。 同一の技術者が複数の分類項目の技術・経験を有している場合には、複数の項目に計上してください。

【2. HLW処分技術(その2)】

LZ. HLW及为XM								
		技術分野		経騎	年数ごとの	の技術者数	t ※ 1	
大項目	中項目	小項目	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上
地上施設	操業技術 その他	ガラス固化体搬送 ガラス固化体受け入れ、検査						
処分場の管理	再取り出し技術 モニタリング技術 品質管理技術 工程管理技術 記録の保存 その他	モニタリング技術全般 品質管理 プロジェクト管理 記録の保存						
総合設計技術	総合設計技術 その他	処分場設計データベース						

^{※1}上記「技術分野」において専門分野と経験を有する技術者数を経験年数ごとに整理してください。 同一の技術者が複数の分類項目の技術・経験を有している場合には、複数の項目に計上してください。

【3. HLW性能評価】

【3. HLWI生能計画		4二/ \ 用マ		4 ∇ F4	· 左 ※ デ し /	N ++ 4: ± */	7.17.1	
		析分野			年数ごとの			
┃ 大項目	中項目	小項目	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満		20年以上 25年未満	25年以上
シナリオ解析技術								
	シナリオ		1					
	その他		1					
ニアフィールド	ニアフィールド	ニアフィールド中の核種移行評価モデル						
性能評価技術	性能評価モデル	ガラスの長期溶解挙動評価モデル	1					
		コロイド移行評価						
		天然有機物·微生物影響評価	1					
		緩衝材間隙水化学モデル						
		ニアフィールド中の地下水流動評価モデル						
	その他							
天然バリア	天然バリア	母岩・断層中の核種移行評価モデル						
性能評価技術	性能評価モデル	コロイド移行評価						
		天然有機物・微生物影響評価	1					
		密度流評価技術						
	その他							
生物圏評価技術	生物圏評価モデル	地表環境中の物質移行評価モデル						
		人間への被ばく評価モデル						
	その他							
システム総合	システム総合性能評価	Eデル						
性能評価技術	性能評価データベース	熱力学データベース						
		人工バリア核種移行評価データベース						
		天然バリア核種移行評価データベース						
		生物圏データベース						
	モデル・データの品質管	埋						
	不確実性評価技術	77 LL /h-						
	変動/接近シナリオ評価	曲技術						
	その他							

^{※1}上記「技術分野」において専門分野と経験を有する技術者数を経験年数ごとに整理してください。 同一の技術者が複数の分類項目の技術・経験を有している場合には、複数の項目に計上してください。

【4. TRU処分技術(その1)】

4. 1代0处分较啊		析分 野		経験	年数ごとの	の技術者数	(<u></u>	
大項目	中項目	小項目	5年未満	5年以上 10年未満		15年以上 20年未満		25年以上
ニアフィールド	ニアフィールド 長期健全性評価技術	ニアフィールドシステムの長期挙動評価 人工バリアの劣化評価 廃棄体パッケージ(含構造躯体)の沈下評価 岩盤クリープ評価 緩衝材の岩盤への貫入、流出評価 人工バリア中ガス発生/移行評価 緩衝材とコンクリートの相互影響評価 コンクリートの岩盤への長期影響評価 人工バリアの耐震安定性評価						
		人工バリアシステムの設計 廃棄体パッケージの設計 充填材の設計 構造躯体の設計 緩衝材の設計 廃棄体パッケージの製作 充填材の製作 構造躯体の製作 構造躯体の製作 緩衝材の製作						

^{※1}上記「技術分野」において専門分野と経験を有する技術者数を経験年数ごとに整理してください。 同一の技術者が複数の分類項目の技術・経験を有している場合には、複数の項目に計上してください。

【4. TRU処分技術(その2)】

	技	ī術分野		経駁	年数ごとの	D技術者数	ξ <u></u> Χ 1	
大項目	中項目	小項目	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上
地下施設	地下施設の設計評価技術 掘削・支保工施工・ ずり搬出技術 対策技術	地下施設レイアウト設計 沿岸海底下処分 広域地下水流動評価 熱影響評価 地下坑道安定性評価(空洞安定性) 地下施設の操業時地震安定性評価 地下坑道支保工設計 アクセス坑道,処分坑道 処分孔 異常間隙水圧、山はね、膨張性地山、						
	操業技術 閉鎖技術	ガス突出, 大湧水等の対策工 操業システム設計 構造躯体の定置 廃棄体パッケージの充填(封入),搬送,定置 構造区体内の充填 緩衝材搬送、定置 プラグ 埋め戻し						
	 その他	グラウト						
地上施設	操業技術	TRU廃棄体搬送 TRU廃棄体受け入れ、検査						
 処分場の管理	その他 再取り出し技術							
,	モニタリング技術 品質管理技術 工程管理技術 記録の保存 その他	モニタリング技術全般 品質管理 プロジェクト管理 記録の保存						
総合設計技術	総合設計技術その他	処分場設計データベース]					

^{※1}上記「技術分野」において専門分野と経験を有する技術者数を経験年数ごとに整理してください。 同一の技術者が複数の分類項目の技術・経験を有している場合には、複数の項目に計上してください。

【5. TRU性能評価】

【5. TRU性能評価				/= F		_		
	技术	析分野			年数ごとの			
			5年未満	5年以上	10年以上	15年以上	20年以上	25年以上
大項目	中項目	小項目	5年木油	10年未満	15年未満	20年未満	25年未満	25年以上
シナリオ解析技術								
	シナリオ							
	<u>アンフス</u> その他							
ニアフィールド	ニアフィールド	ニアフィールド中の核種移行評価モデル						
-	-	TRU廃棄体の長期ソースターム挙動評価モデ						
性能評価技術	性能評価モデル							
		ル 						
		高アルカリプルーム・硝酸塩移行評価モデル						
		コロイド移行評価モデル						
		天然有機物・微生物影響評価モデル						
		緩衝材間隙水化学モデル						
		ニアフィールド中の地下水流動評価モデル						
	その他							
天然バリア	天然バリア	母岩・断層中の核種移行評価モデル						
性能評価技術	性能評価モデル	高アルカリプルーム・硝酸塩移行評価モデル						
		コロイド移行評価モデル						
		天然有機物・微生物影響評価モデル						
		密度流評価技術						
	L その他	在及川計画技術						
사사들의 등과 /파 ++ 샤드	 							
生物圏評価技術	生物圏評価モデル	地表環境中の物質移行評価モデル						
		人間への被ばく評価モデル						
	その他	-4						
システム	システム総合性能評価ヨ	Eデル						
総合性能評価技術	性能評価データベース							
		人エバリア核種移行評価データベース						
		天然バリア核種移行評価データベース						
		生物圏データベース						
	モデル・データの品質管							
	不確実性評価技術	_						
	変動/接近シナリオ評価	而技術						
	<u> 交 </u>	41X III						
		段とちまり ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	148-41.				l .	

^{※1}上記「技術分野」において専門分野と経験を有する技術者数を経験年数ごとに整理してください。 同一の技術者が複数の分類項目の技術・経験を有している場合には、複数の項目に計上してください。

【6. 社会科学. 環境保全、品質保証】

10: [42]	况	#= / \ H Z	1	父又 ⊞ ∕	左 粉 ご し/	ひまま 45 42 48	, \' 1	
		析分野			年数ごとの	り技術有多	(* 1	
			5年未満	5年以上	10年以上	15年以上	20年以上	25年以上
大項目	中項目	小項目	0 1 0 1 4 7 1 - 3	10年未満	15年未満	20年未満	25年未満	
処分の安全確保	国際安全基準	地層処分の安全原則に係わる動向						
		放射線安全に係わる動向						
		制度的管理に係わる動向						
	その他							
社会的受容性	社会合意形成	住民参加・コミュニケーション手法						
	地域共生	制度設計						
		経済効果						
	その他							
環境保全	環境影響評価,環境調査	<u>k</u> 1						
	環境対策, 保全工事							
	その他							
品質保証	品質保証							
	その他							

^{※1}上記「技術分野」において専門分野と経験を有する技術者数を経験年数ごとに整理してください。 同一の技術者が複数の分類項目の技術・経験を有している場合には、複数の項目に計上してください。

【7. 処分事業の研究に実際に従事できる技術者の総数】

処分事業の研究に実際に従事できる技術者の総数を経験年数ごとに記入してください。 ※各技術分野の延べ人数の合計ではありません。

5年未満	10年未満	15年未満	20年未満	25年末満	25年以上

/ LAG D	\
(様式1	13 -3 J
ハンドナバエ	$\mathbf{D} \cdot \mathbf{O} I$

	_	
※ 受付番号	※ 業者CODE	

営業所一覧表

番号	営業所名称 (担当者氏名)	郵便番号	所在地	電話·FAX番号 技術者数			
	()						
	()						
	()						
	()						
	()						
	()						
	()						
		<u> </u>					
	(
	(
)						
)						
)						
	()						

- 1. 本表は申請日現在で作成すること。
- 2.「営業所名称」欄には、常時契約を締結する本店又は支店等営業所の名称を記入するとともに()内に連絡担当者名を記入すること。
- 3.「所在地」欄には、営業所の所在地を記入すること。
- 4. 「電話・FAX番号」欄には、上段に電話番号を、下段にFAX番号をそれぞれ(市外局番)-(市内局番)-(加入者番号)の順に記入すること。 5. 「技術者数」欄には、それぞれの営業所に在籍している技術者数を記入すること。